

発表者 神奈川県立有馬高等学校 PTA

『マナーアップ活動参加を通して見えてきた安全な通学の実現に向けて必要なこと』

交通安全の活動について

本大会の発表に向けた活動は、5月のPTA総会後に各委員会から数名ずつ選出し、12名のメンバー集うワーキンググループ（以下、WG）を立ち上げたところからスタートしました。はじめに、6月上旬と下旬に打ち合わせを2回実施し、発表までの4か月間どのような活動に取り組むのか意見交換を行いました。登校マナーに対する地域の方々からの声、先生方からのご意見と、WGメンバーがそれぞれ把握している子ども達の通学状況、持ち合わせている交通ルールに関する知識を照らし合わせて、試行錯誤した結果、3つの活動を展開していくことが決まりました。

- ・ 最寄駅から高校の通学路に教員や風紀委員が立ち、通学する生徒に声掛けをするマナーアップ活動への参加
- ・ Web アンケート実施による交通安全に関する知識の再確認と習得
- ・ ヘルメット着用コンテストへの応募の呼びかけ



3つの活動がすべて終了しているわけではないため進捗状況の報告を含みますが、活動から見えてきた課題や改善に向けた提案についてお伝えします。

改善に向けた提言（まとめ）

内的な要因について

- ・ 交通ルールを知る
- ・ 交通ルールを理解する
- ・ 交通ルールを守る

活動1 マナーアップ活動への参加

マナーアップ活動時の気づきを保護者と教員に共有し、生徒だけでなく3者の意識改善に繋げる。

活動2 WEB アンケートの実施

マナーアップ活動で把握した課題の改善に向けた質問も加えて今年度中に実施する。

活動3 ヘルメット着用コンテスト応募

美術部に加えて写真部にも応募を呼び掛ける。

外的な要因について

- ・ 歩行者信号の長さ
- ・ ミラーの改善
- ・ ポールの色の変更
- ・ 停止線の塗装
- ・ 自動車の安全運転
- ・ 安全運転を促す掲示物の設置

生徒が渡り切れる信号の時間やミラーの改善、自動車のマナーなど、外的要因も大きいので、様々な地域のパートナーとどのように連携し、改善できるか検討していきたい。

生徒の交通安全は生徒に行動改善を呼び掛けるだけでは実現し得ないため、今後は、保護者・学校・地域と情報共有や連携活動も並行して進めていきたいと考えております。